

7 お手入れ方法と日常点検

ウォーターサーバーの衛生管理で一番重要なことは、普段のお客さまご自身によるお手入れです。

1) 普段のお手入れ



注意

お手入れの前にウォーターサーバーの電源プラグを抜いて、手を洗ってください。
濡れた手でお手入れはしないでください。
お手入れには台所用アルコール除菌剤と清潔なキッチンペーパー等を使ってください。



電源プラグを抜いてください。



手を洗ってください。

① 頻繁に行っていただくお手入れ

a. ボトル差込口及び周辺(ボトル交換時)

- ボトル差込口に水がたまっていたり、汚れが付着していると雑菌が繁殖する恐れがあります。
- 水がたまったままボトルをセットすると、水が飛散したり思わぬ場所から漏れ出す恐れがあります。
- ボトル差込口に水がたまっていたら水分を取り除いてから、台所用アルコール除菌剤をキッチンペーパーなどに吹き付けて消毒し、拭き取ってください。

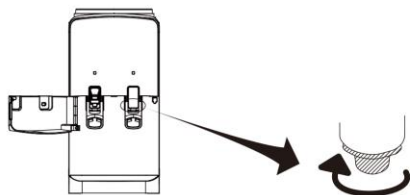


b. 冷・温水コック(1週間ごと)

ペットを室内で飼っている場合、人の出入りが多い場所に設置している場合は、特にお手入れを頻繁に行ってください。



台所用アルコール除菌剤



コックの出水口は外して洗うことができます。

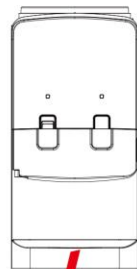


注意

温水コックは熱くなっていることがあります。火傷に注意してください。

c. 水受皿(1週間ごと)

食器洗いで中性洗剤でスポンジ等を使い洗ってください。



水受皿は手前に引っ張ると取り外せます

① お手入れ方法と日常点検

② 定期的に行っていただくお手入れ

a. 本体外面とボトルカバー（1か月ごと）

清潔なタオル等で乾拭きしてください。
汚れがひどい時は食器洗い用中性洗剤を使用して拭きとってください。研磨剤入り洗剤で磨かないでください。
クリーンカバー内部も同様にお手入れください。

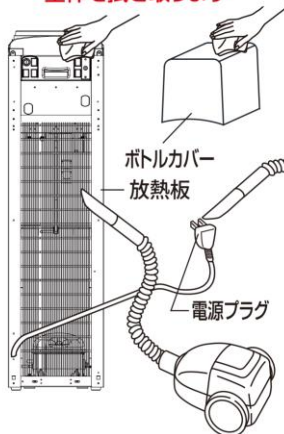
b. 背面部分（放熱板）（1か月ごと）

ウォーターサーバーの背面は放熱部となっています。
ホコリが付着すると冷却能力が低下します。
やわらかいブラシや掃除機等で掃除してください。

c. 電源プラグ（1か月ごと）

電源プラグの刃先にホコリが付着するとトラッキング現象がおこり、発煙発火することがあります。掃除機やブラシ等でホコリを取ってください。

全体を拭き取ります



2) 長時間使用されない場合のお手入れ



注意

作業を行う前に必ず背面のHOT S/W（ホットスイッチ）をOFFにし、電源プラグを抜いてください。ウォーターサーバーや手が濡れている状態での作業はしないでください。
※この作業はすみやかに行ってください。

① ウォーターサーバーからボトルを外す。

（『5-4』ボトルの取り外し方』参照）

② 熱湯が冷めるのを待つ（電源を抜いてから6時間以上）。

火傷する恐れがありますのでご注意ください。

③ 温水コックからコップ等に水を汲み、冷めているか確認する。

④ 冷水コックをバケツ等で受けて、冷水コックを開き、冷水を完全に抜く。

⑤ 背面のドレンキャップを外してドレンパッキンの栓を抜き、バケツ等で受けて、温水を完全に抜く。

熱湯が出ることがありますのでご注意ください。
ドレンパッキンを外すと水が飛び出します。

⑥ ドレンパッキンの栓を差込み、ドレンキャップを閉める。 ドレンパッキンが抜けているとドレンキャップを閉めても水漏れします。ご注意ください。

⑦ ボトル差込口、冷水コック、温水コック、水受皿等の掃除を行う。

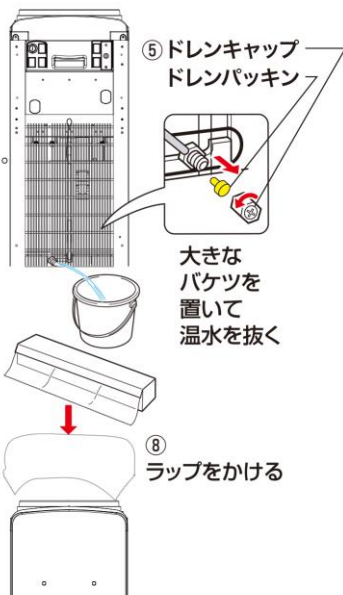
（『7. お手入れ方法と日常点検』参照）

⑧ ウォーターサーバー上面のウォーターガードを食品用ラップ等をかけ、ホコリやゴミが入らないようにする。

（ラップフィルムがずれないようにテープ等で固定する）

⑨ コックも食品用ラップ等でくるむようにしてホコリが付着しないようにする。

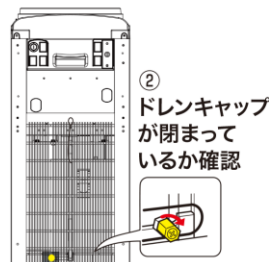
⑩ 直射日光や雨の当たる場所は避けて、換気の良い室内に保管してください。



3) 再びご使用を開始される場合

再びご使用を開始される場合は、メンテナンスが必要な場合がありますので、販売店または取扱店に相談してください。

- ① ウォーターサーバーのラップを取る。
- ② コックと背面のドレンキャップが閉じられているか指で回して確認する。
- ③ ボトルの差込口、冷水コック、温水コック、水受皿等の掃除を行う。
(『7. お手入れ方法と日常点検』参照)
- ④ ウォーターサーバー本体に汚れや破損がないか点検する。
- ⑤ ウォーターサーバーにボトルを差し込む。
(『5-5) ボトルの取り付け方』参照)
- ⑥ 水がサーバーに入っていくとボトルが変形して潰れていきます。
変形が止まるまで(1分程度)の間、水漏れがないことを確認してください。
- ⑦ 温水コックを1分程度押し続け、水が出てきたらエア抜き完了です。
- ⑧ 冷水・温水コックよりコップ2杯分以上の水を取水して捨ててください。
- ⑨ 水漏れなど不具合が無いか確認する。
- ⑩ 電源プラグにホコリが付着していないことを確認し、コンセントを差し込む。
- ⑪ 側面のHOT S/W(ホットスイッチ)をONにする。
- ⑫ ボトルカバーを乗せる。
- ⑬ 適温になるまで30~40分間待ってご利用ください。室温により適温までの時間が長くなる場合があります。



お願い 安全にお使いいただくために以下の項目も確認してください。

- ① 電源コードや電源プラグが変色したり、異常になっていないか。
- ② 電源コードに傷や変形が無いか。
- ③ 焦げくさい臭いがしないか。
- ④ 電源コードが重いものの下敷きになっていないか。
- ⑤ 電源プラグの刃先にホコリがたまっていないか。
以上のような状態があった場合は、感電事故や火災の原因になりますので特にご注意ください。
- ⑥ ボトルがウォーターサーバーにしっかり装着されているか。斜めになっていないか。
- ⑦ ドレンキャップや温水・冷水コックから水漏れはないか。
- ⑧ ウォーターサーバーの下部やまわりに水漏れしていないか。
以上のような状態があった場合は、感電事故や二次被害のおこる原因となりますので特にご注意ください。